

小学校第4学年 国語科 学習指導案

期 日 平成23年9月30日(水) 第5校時
場 所 荒尾市立荒尾第一小学校 4年3組教室
指導者 教諭 岩本 龍二

1 単元名

説明のしかたについて考えよう 「アップとルーズで伝える」(光村4年下)
「仕事リーフレット」を作ろう

2 単元について

(1) 単元観

本単元「アップとルーズで伝える」では、「アップ」と「ルーズ」の情報伝達の違いを対比関係で説明している。また、テレビの動画だけではなく、新聞の写真でも目的に応じて「アップ」と「ルーズ」を使い分けられていることを補足している。これらの様々な説明の特徴を出し合ったり、要約をしたりしながら段落相互の関係を読み取ったりして、自分の説明に利用することができるように設定してある。次の「書くこと」の学習である「仕事リーフレットを作ろう」では、「読むこと」で学習したことを生かして、書くという単元設定がなされている。

そこで、本学習においては、第3学年及び第4学年「B 書くこと」の指導事項「ウ 書こうとすること」の中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くことと「C 読むこと」の指導事項「イ 目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと」とを関連付けることにより、効果的な指導を行うことを意図する。

その際、「B 書くこと」の言語活動例「ウ 収集した資料を効果的に使い、説明する文章」を書くことと、「C 読むこと」の言語活動例「ウ 記録や報告の文章を読んでまとめたものを読み合うこと」とを組み合わせて、学習の過程が児童自身にとっての課題解決の過程となるように言語活動を位置付けて指導する。

児童は「学校紹介リーフレット」を作るという目的を明確にもつことで、その目的に応じた「中心となる語や文」を一層主体的にとらえて読むことができる。また、教材文を始めとした文章や資料などを読むことの過程で、「学校紹介リーフレット」を書くために必要なことは何か、取材の仕方はどうかという課題を児童自らがもつようになり、書こうとすることの中心を明確にして説明する文章を書くことにつながっていく。このように「書くこと」と「読むこと」を組み合わせることにより、それぞれのねらいを一層効果的に実現するよう領域を複合させた単元を構想した。

(2) 系統観

第4学年 (6月) 読んで、自分の考えをまとめよう 「大きな力を出す」 「動いて、考えて、また動く」 B 書くこと (1)カ (2)ウ C 読むこと (1)イ・エ (2)ウ	第4学年 (9月) 説明のしかたについて考えよう 「アップとルーズで伝える」 「仕事リーフレット」を作ろう B 書くこと (1)ア・イ (2)ウ C 読むこと (1)イ・エ (2)ウ	第4学年 (1月) 科学読み物をしようかいしよう 「ウナギのなぞを追って」 聞き取りメモの工夫 B 書くこと (1)カ (2)ウ C 読むこと (1)イ・エ・オ (2)ウ
--	---	---

(3) 児童観(児童数29人)

○発表に対しては積極的になれない児童もあり、話合いの場面では特定の児童だけで話合いが進んでしまうこともある。

○これまでの国語科学習では、物語文「白いぼうし」「一つの花」、説明文「大きな力を出す」「動いて、考えて、また動く」を通して、自分の意見を交流する学習を行ってきた。

○考えを交流する場面ではつなぎ発言を用い、前の発言を受けた自分の考えを「同じ・似ている・違う」で比べ、立場をはっきりさせた言い方で交流してきた。

国語に関する質問紙調査の結果(6月実施)

出題のねらい等	概ね達成	達成できていない
文章全体の構成に目を向けて読み、段落相互の関係を理解している。	19人	10人
「事実」と「意見」を読み分け、その関係をとらえている。	14人	15人
筆者の考えに対する自分の考えを伝え合い、感じ方の違いに気づいている。	8人	21人

○段落相互の関係については、「初め・中・終わり」の段落に分けられる児童が学級の中で3分の2程度である。それぞれの「初め・中・終わり」のもつ役割については、大まかに「話題・説明・まとめ」というふうにとらえている。

- 事実と意見の違いにはっきりと気づくことができる児童は約半数程度である。
- 筆者の説明の仕方について「大きな力を出す」「動いて、考えて、また動く」を通して考えた経験がある。そこでは、事例が筆者の考えを強める役割を果たしていることを学んでいる。
- 自分の考えと友達のととの違いを考えながら聞こうとする意識はあるが、その後どのように伝えるかなどの表現へと結びついていない。
- 熊本県学力調査の結果から、「書くこと」と「読むこと」については、県平均をわずかに上回っている。

(4) 指導観

- これまで学んできた説明的文章の学習と関連させ、「要点」をとらえた上で、「要約」を行い、段落構成を読み取らせる。
- それぞれの段落の内容を正しく読むための手だてとして、大事な箇所にサイドラインを引かせ、確認する時間を設ける。
- 筆者の説明の仕方のよいところを利用して「学校紹介リーフレット」を作るという単元を貫く言語活動を設定し、学習の見通しをもたせ、主体的な学習活動となるようにする。
- 読ませ方を工夫し、対比、補足などの筆者の工夫に気付かせる。

Aプロジェクト 思考力、判断力、表現力等の育成の視点から

本単元で高める思考力、判断力、表現力等は、文章と写真を対応させ、対比や補足を用い、段落相互の関係を考えて、説明の仕方の工夫をして文章を書く力である。この書く能力を高めるために、新聞に載せる写真を目的に応じて選ばせ、その理由を説明するなどの言語活動を通して、自分の主張を明確にして、説明を工夫することが必要であることに気付かせる。

説明の仕方の工夫に気付きそれを自分の文章に生かす能力と、伝えたいことを調べて積極的にわかりやすく表現しようとする態度を育てたい。

3 単元の目標と評価規準

単元の目標	段落同士の関係に注意して読み、筆者が、何を、どのように説明しているかを考えることができる。
単元を貫く言語活動	「学校紹介リーフレット」を作る。
言語活動(「読むこと」)	記録や報告の文章を読んでまとめたものを読み合う。
国語への関心・意欲・態度	①説明的な文章を読んで、考えたことや感想を述べ合い、互いの感じ方や考え方のよさを認め合おうとしている。 ②情報を読み手に分かりやすく伝えるため、図表、絵、写真などの視覚に訴える資料を活用しようとしている。
書く能力	①本や文章、写真、具体物など、収集した資料から説明の目的や文章の種類に応じてより効果的なものを選んでいる。 ②視覚化したり具体化したりして説明するために、文章を図解したり写真やグラフを解説したりしながら、文章と図表などの資料とを関係付けて説明する文章を書いている。
読む能力	①読む目的や必要に応じて、知識や情報を選択したり、表現の仕方に着目したりして説明的な文章を読んでいる。 ②説明的な文章を読んで考えたことや感想を述べ合い、一人一人の着眼点の良さや感じ方の違いに気付いている。
言語についての知識・理解・技能	①指示語や接続語は、文相互の関係、段落相互の関係を端的に示す手掛かりになることを理解し、文章を読んでいる。 ②文と文との意味のつながりを考えながら、指示語や接続語を使っている。

4 指導・評価の計画(15時間取扱い 本時 6 / 15)

次	時	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 ※Aプロジェクトの視点から	評価基準(基準B)(評価方法)
		単元を貫く言語活動:「学校紹介リーフレット」を作る。		
1	1	○リーフレット作りの相手意識・目的意識をはっきりさせる。 ○「アップとルーズで伝える」から、説明の仕方の工夫を見つけてリーフレット作りに生かそうとする見通しをもつ。 ○題名から内容を想像し、テレビのアップとルーズを視聴し、大まかにアップとルーズの違いをとらえる。	・学校への来客者にどんな人がいるか知らせる。 ・来客者への学校紹介をするリーフレット作りを行うことを説明し、「リーフレットを作る」目的を明確にする。 ・リーフレットの作例を示し、本単元の見通しをもてるようにする。	関心・意欲・態度①(ノート・発言) ○写真と文章を対応させて、興味をもって「アップとルーズで伝える」を読もうとしている。
	2	○資料から文章を考えたり、資料と文章の対応を読み取る。	・静止画4枚を提示し、どのような場面か想像させる。 ・文章をバラバラに示し、静止画をヒントに並べ替えることで説明の順序を確かめさせる。 ※4枚の写真から説明の順序を考え、分かりやすくなっていることに気付かせる。	読む能力①(ノート) ○説明の順序や、静止画と文章の対応で説明が分かりやすくなっていることをつかんでいる。
	3	○全文を読み、大事な箇所にサイドラインを引き、それぞれの段落に小見出しを付けられるように、内容を読み取る。	・今までの学習を想起させ、大事な言葉にサイドラインを引いたり、抜き出したりする活動を行い、内容を読み取れるようにする。	読む能力①(ノート) ○それぞれの段落の内容を読み取っている。
2	4	○①～⑥段落の相互関係をつかむ。	・「しかし」「でも」という言葉に着目させ、「アップ」と「ルーズ」の対比関係を表せる表を用意する。 ※段落相互の関係を考えて読み、リーフレット作りにどう生かすか考えさせる。	読む能力①(ノート・発言) ○対比の関係で説明されていることをつかみ、比べることで説明が分かりやすくなっていることに気づいている。
	5	○⑦⑧段落の役割を考えて、新聞の事例が補足する関係であり、伝えたいことを強調していることをつかむ。	・①～⑥段落までの構成を確かめ、⑦段落が別の事例であることを確かめさせる。 ・⑧段落は全体の総括であることをつかませる。	読む能力①(ノート・発言) ○⑦段落が筆者の伝えたいことを強める補足の役割をもっていることをつかんでいる。
	6 本時	○対比を用いた説明の仕方について考え、筆者の伝えたいことをまとめる。	・新聞に載せる写真を、目的に応じて選ばせ、対比を用いた説明の仕方のよさに気づかせる。 ※自分が伝えたい内容に応じて写真を選ばせ、その理由を説明させる。	読む能力②(シート・発言) ○写真からの情報を読み取り、考えたことを表現している。
		○筆者の説明の仕方の工夫を確かめ、リーフレット作	・文章全体を振り返り、リーフレット作りに生かしたいこ	関心・意欲・態度②、読む能力②(ノート)

	7	りに生かしたいことをまとめる。	とをまとめさせる。 ※来客者に伝えたい内容を構想し、内容に応じて写真や配置を考えるようにさせる。	○読み取った内容を、分かりやすくまとめて書こうとしている。 ○リーフレット作りに生かせる、対比・補足などの説明の仕方の工夫をとらえている。
	8 9	○リーフレットにまとめた内容について取材する。	※紹介したい内容を整理させ、取材させる。	関心・意欲・態度②、書く能力①(ノート・発言) ○進んで材料を集めたり、分かりやすくまとめて書いたりしようとしている。 ○自分の伝えたいことに合わせてアップとルーズの視点を持って取材をしている。
	10	○伝えたい内容を考えて、集めた情報から、載せる内容と写真を選ぶ。	・「アップとルーズで伝える」で学習した、伝えたい内容と写真の対応を想起させる。 ※内容に一番ふさわしい写真はどれか考えさせる。	書く能力①(ノート・発言) ○伝えたい内容に合わせてアップとルーズの視点で選材している。
3	11 12 13 14	○書き方の工夫を生かして、リーフレットを作る。 ○作ったリーフレットを見直し、文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりする。	・リーフレット作例を示し、見通しをもって活動できるようにする。 ・指示語や接続語、文末表現などの推敲を行うよう指示する。 ※来客者に分かりやすいように、内容と写真に対応させ、リーフレットを作らせる。	書く能力②(リーフレット) ○写真と文章を対応させて書いている。 ○内容のまとまりごとに段落に分けて書いている。 知識・理解・技能②(発言・リーフレット) ○指示語や接続語、文末表現などに着目して、進んで推敲している。
	15	○友達と読み合い、感想を交流する。 ○学習を振り返り、まとめる。	・写真と文章の対応、文章の順序などの視点をもって、最も伝えたいことが伝わっているかどうか読み合わせ、感想を述べさせる。	関心・意欲・態度①、読むこと②(ノート・発言) ○視点に沿った感想を述べている。 ○級友のリーフレットのよさを認め合おうとしている。

5 本時の学習

(1) 目標 対比を用いた説明の仕方のよさに気づき、筆者の主張と関連させて考えることができる。

(2) 評価基準

読む能力(ノート・発言)

(基準B) 対比を用いた説明の仕方について、考えたことを表現している。

(基準A) 対比や補足、対応、段落構成など、説明の仕方について考えたことを表現している。

(3) 展開

過程	学習活動【学習形態】	主な発問・指示等	教師の指導及び評価 ※Aプロジェクトの視点から	備考
導入 10分	1 ⑥段落を読んで、 ④⑤段落が対比で述べられていることを確かめる。	○どんなときがアップがいいのかな。 ○どんなときがルーズがいいのかな。 ○テレビはその場で切り替えるようにしているんだね。	○目的によってアップとルーズを使い分けていることを確かめる。 ○⑥段落はテレビの事例のまとめであることを確かめる。	本文 ⑥段落

展開 25分	めあて:筆者の説明の仕方の工夫について考えよう。			
	2 新聞に載せる写真を選び、理由も書く。 (1) 自分なりの考えをもつ。 【個人】 (2) 互いの考えを交流する。 【ペア】 【一斉】	○「渋滞」を伝える新聞記事を書きます。どちらの写真を選びますか。 ○どちらを選ぶか、まず決めてください。理由も考えてノートに書いてください。 ○ペアで話し合ひましょう。 ○学級みんなに意見を伝えましょう。	○学習意欲を高めるために、「渋滞」のアップとルーズの写真を提示する。 ○写真を見て気づいたことを出し合う。選ぶ理由まで説明できるようにする。 ○似た意見や違う意見について、自分の立場をはっきりさせた発言を促す。 ※自分が伝えたい内容に応じて写真を選び、みんなに分かるように伝えるようにする。	「渋滞」のアップとルーズの写真
	(3) 友だちの意見を聞いて再考する。 3 ⑦段落が補足の段落であることを押さえる。 4 筆者の主張をとらえ、説明の仕方について考える。 5 学習のまとめをする。	○「渋滞」を伝える新聞記事にするには、どちらの写真を選べばよかったのでしょうか。 ○⑦段落以外にも目的に一番合うものを選ぶことが書いてあるところはありませんか。 ○みんなの意見を整理しよう。 ○筆者の主張はどの段落にまとめてありましたか。また説明の仕方をどう思いますか。	○同じ「渋滞」を伝える記事でも、記事の内容によって選ぶ写真も違うことに気付かせる。 ○⑦段落を読み、伝えたい内容に合わせて「アップ」と「ルーズ」の写真が使い分けられていることを押さえる。 ○⑧段落が筆者の主張の総括であることを確かめる。 【評価：読む能力②（シート・発言）】 ＜B基準に達しない生徒への手立て＞ 前時までの学習を振り返らせ、本文中の対比に気付かせる。 ○筆者の説明の仕方の工夫について考え、リーフレット作りに活かせるようにする。	本文⑦段落 本文⑧段落
	6 学習したことの感想を述べる。 【個人・一斉】	○学習の感想をノートにまとめ、発表しましょう。	○発表をすることで、学習して分かったことの共有化を図る。	
整理 10分				